

「広島平和記念式典中学生派遣事業報告会」、オーレンで実施

「広島平和記念式典中学生派遣事業報告会」が16日、高田公園オーレンプラザで行われ、市民約70人が参加しました。

報告会では、派遣された8人の中学生が、派遣前の事前学習のことから広島での最終日の活動までのすべを、時系列でわかりやすく報告しました。

報告の中では、「平和記念式典では、平和を願っている人たちがこんなにも多くいるのかと驚いた。外国人も来ていた」「袋町小学校平和資料館を訪れたとき、学校の内壁に書かれた家族や友人などへの伝言が74年の時を経ても色あせないでいて、強い思いが伝



オーレンプラザの大ホール壇上に勢ぞろいした8人の代表

わってきた。今度は僕たちが伝言していききたい」など、広島での活動の中で印象に残ったことをとりあげていました。

8月5日に上越妙高駅で行われた出発式では、野澤教育長が、「現地でしか感じられないことがある」とのべ、激励しましたが、やはり、「現地で学ぶ」体験は貴重だということが改めて明らかになりました。来年度は、これまでのように市内全中学校から生徒を派遣してほしいものです。

来月3日から12月議会の予定

12月議会が12月3日から17日まで行われる予定です。4、5、6、9日と常任委員会審査が行われ、10日から13日までは一般質問という流れになっています。

消費増税後の地域経済対策、総合事務所の時間外受付の見直し方針などが焦点になりそうです。傍聴にぜひお出かけください。



干し柿のシーズンです。写真は直江津の三八市にて橋爪議員が撮影

お詫びと訂正

前々号の台風被害の記事中の表についてですが、吉川区の数値が右へひとマスずれているものがありました。お詫びして訂正します。



科学的マップの「非科学性」

「核のごみ」の地層処分についての講演会が6日、市民プラザで行われました。主催は「つなげよう脱原発の輪 上越の会」。30人ほどの市民が参加しました。

講師は地学団体研究会の金井克明さん。金井さんは1時間15分ほどの講演の中で、原子力発電のこと、そこから出る放射性物質などの説明の後、「科学的特性マップ」などについて詳しく解説しました。

資源エネルギー庁の「科学的特性マップ」がいかに単純なもので、地質などをよく調べていない「科学的でないマップ」であることが浮き彫りになりました。地質の専門家だけに、地震や火山のことなどについても詳しく、勉強になりました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.648 2019年11月24日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)